

M O A 自然米

特別栽培コシヒカリ

(単位 10a : kg)

肥料名		施肥量	基肥	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
基肥 + 追肥	バイオノ有機	80	80		4.0	2.3	1.5	…春先施用する
	ロイヤルグアノ	40	40			9.2		
	米糖	90	90		15.0	3.7	1.0	
	菜種粕(粒)	60		60	3.6	1.2	0.6	

注 1. 土壌改良剤として、炭酸苦土石灰(粒)を100kg施用し2回の秋耕を行う。

有機肥料使用栽培基準

<参考例>

① コシヒカリ普通田(発酵鶏糞+慣行肥料) (化学肥料50%削減栽培対応)

肥料名	施肥量	基肥 (秋)	基肥 (春)	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
発酵鶏糞	100	100				5.2	3.2	稲わらを全量施用した場合は分解促進に発酵鶏糞100kgを施し秋起こしする。
発酵鶏糞	120		120		2.3	6.2	3.8	
上伊那米1号Si	20		20		2.4	2.0	2.0	
上伊那穂肥1号	15			15	3.0	0.6	0.6	
合計					7.7	14.0	9.6	

注 1. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
 2. 化学肥料50%削減栽培では、上伊那米1号Siは20kg、上伊那穂肥1号は15kgを上限とする。
 3. 土壌診断によりけい酸分が不足する場合は、けい酸資材を補給する。
 4. 発酵鶏糞の成分量は、N2.9% P6.5% K3.5%で、肥効率N65% P80% K90%で計算している。

② コシヒカリ普通田(有機入り肥料) (化学肥料50%削減栽培対応)

肥料名	施肥量	基肥 (秋)	基肥 (春)	穂肥	成分量			備考
					N	P	K	
たんぼの味方Si	60	60				1.5		稲わらを全量施用した場合は分解促進に石灰窒素10kgを施し秋起こしする。
有機パワー886	70		70		5.6	5.6	4.2	
有機パワー追肥028	20			20	2.0	0.4	1.6	
合計					7.6	7.5	5.8	

注 1. 水田の地力に応じて基肥の量を考慮する。
 2. 燐酸の不足する水田では、BM苦土重焼燐をい基肥として10~20kg施用する。
 3. 化学肥料50%削減栽培では、有機パワー886では70kg、有機パワー追肥028では30kgを上限とする。